

分野	科目名	学年	履修時期	必修・選択	単位	時数
専門分野	ADL 技術論	1	後期	必修	4	90
教育目標 ・理学療法における ADL の位置付けが説明できる。 ・理学療法対象者の ADL 評価ができる。 ・理学療法対象者の ADL 練習および指導ができる。						
1	ADL 総論（生活の構造・生活障害の構造・ICF）					
2	ADL 評価（量的評価と質的評価）					
3	身辺動作と基本動作の介助					
4	骨折・人工関節の ADL（病態運動・評価・代償動作の指導・環境の整備）					
5	脊髄損傷の ADL（病態運動・評価・代償動作の指導・環境の整備）					
6	RA の ADL（病態運動・評価・代償動作の指導・環境の整備）					
7	脳卒中の ADL（病態運動・評価・代償動作の指導・環境の整備）					
8	パーキンソン病の ADL（病態運動・評価・代償動作の指導・環境の整備）					
9	運動失調の ADL（病態運動・評価・代償動作の指導・環境の整備）					
10	神経筋疾患の ADL（病態運動・評価・代償動作の指導・環境の整備）					
11	切断の ADL（病態運動・評価・代償動作の指導・環境の整備）					
12	内部障害の ADL（病態運動・評価・代償動作の指導・環境の整備）					
13	各疾患と IADL					
14	まとめ・演習					
15	まとめ・演習					

テキスト：標準理学療法学 日常生活活動動作学・生活環境学 医学書院

単位認定：出席状況および定期試験